

羅 針 盤		達 成 度			改 善 状 況 の ま と め	学 校 関 係 者 評 価	次 年 度 の 課 題	
評 価 対 象	評 価 項 目	具体的数値項目	①	②				総合
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①ICT教育を推進している本校の教育活動に積極的に取り組んでいると自己評価している生徒が75%以上である。	A	A	A	ICT機器の数が不足しているため、段階的に機器を買い足していくとともに、適正な管理を行い故障等によって使用に支障を来さないようにする。運動部文化部ともに多くの部活動が活躍し上位大会に出場した。生徒の活躍を経済的に支えるため諸費の見直しや生徒会費の配分など改善を図った。	くくり募集により商業科と情報処理科のバランスがどうなるか、選択には十分な配慮が必要だ。部活動は学習に劣らず重要である。学力とともに伸びるものだ。規律や上下関係など学ぶ場でもある。安心して生徒を預けられる教育体制である。	ICT機器に関しては、適正な管理と適正な使用方法を徹底する。部活動では生徒の活躍を支える施設や活動費等の改善に終わりはない。限られた予算の中で工夫をする。学校自動車の利用に関しては、安全管理を徹底し、均衡の取れた運用をしていく。
		②部活動を推進している本校の取り組みに所属生徒の75%以上が積極的である。	A	A	A			
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	③「授業が分かりやすい」と生徒の80%以上が答えている。	A	A	A	ステップアップサポート事業の一層の推進・充実を図り、授業アンケート結果をフィードバックした。オリエンテーション等により検定試験や資格取得の重要性を深く理解させる取り組みを行った。今後も進路指導等を絡めて意識高揚を図る。朝学習、成績不振者補習、部活動単位での学習会など対策が講じられている。協働学習や言語活動の充実を図り学習事項の定着を図る。朝読書を全校で実施した。1学期終了時点では、合格率が56.0%であった。2学期終了時点では50.6%であった。より高度な資格試験にも挑戦し合格実績を上げている。入試においてくくり募集を導入し専門教育をより効果的に推進することとした。効果的な学習を目指し次年度入学生の教育課程を見直した。	協働学習を行っているが、生徒の実態をよく把握して指導を行って欲しい。本当の学力が付くよう指導を工夫する。板書など工夫の余地がある。ノートの取り方指導をするべきだ。教師が綺麗な字を書くことは生徒に良い影響を与えるはずだ。中学校で生徒が活発に学ぶ形態が根付いており、高校でも生徒が主体的に活動し学ぶ指導を推進する。検定への取り組みも熱心で高い合格率を維持している。教師の惜しみない努力に生徒がよく応えている。文化祭では商業教育の成果を垣間見ることができ感動した。資格取得は目標設定を掲げやすい、今後も指導を充実させ合格支援をしてほしい。	授業等への取組は評価できるが、家庭学習は充実しているとは言い難い。学習の達成感を持てるよう授業改善を図る。ステップアップサポート事業の改善を図りより生徒が自主的に学ぶ環境を作る。検定に合格することが目的ではなくそれを生かして何ができるのか、何をやるのかを目的として学習を進めさせる。また全商協会主催の検定試験だけでなくより高度な資格取得についてよい流れを継続し進路実現に結びつける工夫をする。文化祭を続けて開催し、商業教育の充実を図る。
		④資格取得に向けた指導に生徒の85%以上が意欲的に取り組んでいる。	A	A	A			
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑤学習に対する達成感・満足感をもっている生徒が70%以上である。	A	A	A			
		⑥全商関係の検定試験合格率が70%以上である。	B	B	B			
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑦学年会議・校務運営委員会・職員会議等で生徒に関する情報交換を毎週実施し、教職員の連携強化を図っている。	A	A	A	各学年、運営委員会、職員会議等での情報交換を密にし、教職員間の共通理解を深める。連携して問題解決を図る。生徒会が中心となり生徒の意見集約を行う。また委員会活動の生徒発表を全体で行うなど検討する。校内清掃設備の調査を行い備品の交換等を行った。危険箇所等に対処していく。いじめは問題把握が難しい面もあるが、集会、アンケート等とおして生徒の声に耳を傾け、早期に芽を摘む取り組みをした。1学期時点では欠席率0.6%、遅刻率0.2%、早退率0.2%であった。長欠・欠席がちな生徒や入院を要する生徒もいた。2学期時点では欠席率0.8%、遅刻率0.3%、早退率0.2%であった。朝の玄関指導をはじめ各学年で機会を捉えて粘り強い指導が行われている。今後も式典など折に触れて指導をしていく。	生徒が危機意識をもって私物の自己管理ができるような指導を進めるべきだ。校内美化をより一層徹底して欲しい。安全指導のため自転車点検等の徹底を図るべきだ。高校生が交通ルールをしっかり理解して守っているか疑問を感じるものがしばしばである。交通ルールの遵守を指導して欲しい。生徒は明るくよくあいさつをする。コミュニケーションを図る素地ができている生徒が多く好感が持てる。ただ声がやや小さい。式典や公の場でどう表現できるかが問題である。服装がしっかりしており指導が行き届いている。地味ではあるが、しっかりとした生徒指導が学習に、資格取得に、進路にと好ましい影響を与えており、それが結果している。バスの事故など安全軽視の事故が続いている。校外活動では行程等を精査して臨んで欲しい。台風や大雪などの対応は情報発信を早く行い安全確保に努めて欲しい。	職員間で共通理解されたことが、どう効果的に連携して指導できるか、組織の見直しを行い効率的効果的に行える体制を作る。清瀬祭では地域の小学生が参加しキッズビジネスタウンを初めて行い、充実感を持って終えることができた。次回に今回の経験を生かせるようマニュアル作りを行う。交通事故が多かった。また地域の方から交通マナーや公共マナーについて厳しい指摘を受けることもあった。LHR等で公共心を養う学習や折に触れて集会等で指導する必要がある。出席状況は例年と大きな違いはないが、改善する余地は大きい。皆勤者が多い一方で欠席等の多い者もいるなど格差が開いている。社会通念上安易な欠席や遅刻が許されないことを商業高校の視点から指導していく。校内設備の整備は限られた予算の中、必要なものを最優先に行っているが、公共物を大切に心育も必要である。朝読書の取組は時間の経過とともに意識が低下する傾向があり、図書館利用促進や魅力的な書物導入など行う。生徒の安全を第一に、台風や大雪など迅速な情報提供等に務める。いじめの撲滅に引き続き努力し、生徒に寄り添う姿勢を貫く。
		⑧生徒会行事や各種専門委員会など、生徒会活動が充実していると評価した生徒が70%以上である。	A	A	A			
		⑨校内の美化・安全点検を各学期に1回以上実施している。	A	A	A			
		⑩いじめの防止に努め、いじめの解消率が100%である。	B	B	B			
	5 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑩家庭との連携を密にして欠席率・遅刻率が1.0%以下である。	A	A	A			
		⑪挨拶や服装、遅刻防止指導など学校の生活指導は充実していると感じている生徒が85%以上である。	A	A	A			

※ 自己評価・外部アンケート等：個々の具体的数値項目について評価し、次に従いアルファベットで記入した。

A：数値目標達成、B：約80%達成、C：約60%達成、D：約40%達成

羅 針 盤			達 成 度			改 善 状 況 の ま と め	学 校 関 係 者 評 価	次 年 度 の 課 題
評 価 対 象	評 価 項 目	具体的数値項目	①	②	総合			
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	6 計画的な指導を行っていますか。	⑫学校から提供される進路情報が役立っていると評価する生徒が80%以上である。	A	A	A	<p>保護者会等でも進路に触れ、本校の方針や多様な進路について理解を深めてきた。外部講師の活用等を進め進路意識を高めていく。</p> <p>毎月その時期にあった内容のたよりを発行してきた。今後も「今高校生に何が求められているか」に関して情報を発信していく。</p> <p>就業体験も含め、学年行事、学級活動、授業等と、職業や生き方に関わる学習はいろいろな場で指導している。進路学習を職員全体で指導できるよう連携を図る。</p> <p>各学年に応じた進路指導を進路指導部と学年とが連携して行っている。今学習していることや資格がどう将来につながっていくかLHRや学年集会等で指導する。</p>	<p>高校で身につけた学力で卒業後も力を発揮できる。充実した進路指導が行われていると評価する。</p> <p>生徒の頑張りや職員の努力がうまくかみ合っている。</p> <p>毎年のように進路実績が向上していることが分かった。この流れを継続してほしい。</p> <p>大学卒業後の活躍を知りたくなるほど将来が楽しみである。活躍状況が分かる。</p> <p>保護者の進路室利用の便宜を図って欲しい。求人一覧や指定校一覧などの情報提供も保護者に確実に行き渡るよう工夫して欲しい。</p>	<p>球技大会を2学期開催にすることで二者面談、三者面談に関して来年度はより日程的な余裕を持って行える行事予定を立てることが可能である。</p> <p>進路のたよりではコミュニケーションや挨拶の大切さ、服装や言葉遣いに関するアドバイスなど内容は多岐にわたり社会で生きる力を生徒に身につけさせる情報についても発信した。学校や会社に関する情報についてもタイムリーに触れてきた。今後も生徒、保護者、職員が欲する情報を探り発行していく。</p> <p>LHRや学年集会等で進路に関する指導が行われてきた。職員全体が進路に関する共通理解を持つ方向へ進めていく。</p> <p>進路情報の発信を工夫し親子で適切な進路選択ができる環境を作る。</p>
		⑬進路通信を年間12回以上発行し、生徒・保護者へタイムリーな情報を提供している。	A	C	B			
	7 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑭「自己の生き方」と「将来の職業」との関連について真剣に考えている生徒が80%以上である。	A	A	A			
		⑮進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒が80%以上である。	A	A	A			
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	8 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑯学年別保護者会に積極的に参加している保護者が90%以上である。	A	A	A	<p>3学年は228/234で、97.4%、2学年は240/243で、98.8%、1学年は233/242で、96.3%。</p> <p>清瀬祭では新しい試みであるキッズビジネスタウンにより小学生とその保護者を多数招き学校理解を深めた。</p> <p>ふれあいメールを使って行事等を周知した。</p> <p>学校説明会では、保護者や中学生のほとんどが理解に役だったと考えている。中学校へ出向いての説明会、合同説明会、ホームページの充実など本校の教育活動を理解してもらう努力をした。</p> <p>ビジネス研究部は地域活性化の活動を行い、課題研究では高大連携や地域社会との連携を積極的に進め、その成果を発表した。</p>	<p>保護者会の参加率には目を見張るものがある。高い参加率を維持する仕掛けを今後も継続していく。</p> <p>文化祭は商業高校の良さを発信するのに有効な場である。今年度の成功は次年度への期待を高めるものであった。</p>	<p>学校説明会やオープンスクールについては概ね良好なアンケート結果であるが、少数意見ながら改善を求める記述もあった。他校との比較に言及されている意見もあった。学校間の集まりで他校と情報交換をする。</p> <p>合同説明会は本校だけでなく他校と説明内容を調整するなどの必要性を感じる。限られた時間で伝えるべき事柄を整理する。</p> <p>文化祭を継続的に実施し改善を進め、地域と密着したものとしていく。</p>
		⑰学校説明会、オープンスクール、保護者参加事業等で学校の教育活動を理解できたと感じる参加者の割合が85%以上である。	A	A	A			

※ 自己評価・外部アンケート等：個々の具体的数値項目について評価し、次に従いアルファベットで記入した。

A：数値目標達成、B：約80%達成、C：約60%達成、D：約40%達成